

2023年2月14日
ダイキンオーキッドレディス大会事務局

2023年JLPGA ツアー開幕戦 『第36回ダイキンオーキッドレディスゴルフトーナメント』 ～出場選手決定のお知らせ～

JLPGA ツアー2023 シーズン開幕戦『第36回ダイキンオーキッドレディスゴルフトーナメント（賞金総額1億2,000万円[優勝賞金2,160万円]』（主催：ダイキン工業株式会社、琉球放送株式会社、以下ダイキンオーキッド）の出場選手が決定しましたのでお知らせいたします。

今大会には、2022年シーズンのメルセデス・ランキング1位で、年間最優秀選手に輝いた**山下美夢有**、メルセデス・ランキング3位の**稲見萌寧**など、昨シーズンを盛り上げたトップ選手が出場いたします。さらに、**勝みなみ**、**小祝さくら**、**西村優菜**、**吉田優利**など昨シーズンメルセデス・ランキング上位の選手も出場します。また、ルーキーイヤーながらツアーを席卷した”94期生”からはJLPGA ツアー初優勝をメジャー大会で飾った**川崎春花**やプロ初優勝を挙げた**尾関彩美悠**、ステップ・アップ・ツアーで前人未到の年間5勝を挙げた**櫻井心那**などの実力のある若手がエントリーしています。なお、前回優勝の西郷真央はHSBC女子選手権に出場するため欠場となります。

地元沖縄県勢では、ダイキン工業所属選手の**諸見里しのぶ**と**新垣比菜**をはじめ、2019年大会覇者の**比嘉真美子**、24大会連続出場となる**上原彩子**や昨年プロテストに合格したルーキー**荒川怜郁**などが出場。さらに、ダイキンオーキッドアマチュア選手権の上位4名を加えた11名が出場します。地元の熱い声援を受け、4年ぶりの沖縄県勢優勝をめざします。

ダイキンオーキッドは、3月2日（木）から5日（日）までの4日間、沖縄県南城市の琉球ゴルフ倶楽部にて開催します。今大会は4年ぶりに観客動員数に上限を設けず開催し、トーナメントに先立ち前夜祭・プロアマ大会も4年ぶりに実施いたします。トーナメントとして可能な限りの対策を講じ、大会に関わる全てのみなさまの安全を守ることを第一とした運営に努めます。

2023年最初の栄冠をめぐり、総勢108名の選手によって繰り広げられる、華やかで熱き4日間の戦いにご注目下さい。



★新時代の到来を告げる重要な一戦

2023 シーズンは、シード権獲得やリランキングに向けて昨年以上に上位進出をめざした熱い戦いが期待されます。本大会は今年に行く末を占う重要な開幕戦となります。オフでのトレーニングや調整力がこれまで以上に試されます。



山下美夢有

2022 年シーズン年間最優秀選手の**山下美夢有**は、国内メジャー2勝を含むシーズン 5 勝を挙げ、メルセデス・ランキングで 3,441.28pt を獲得し、2 位との差を 1,000pt 以上つけ初の同ランキング 1 位に輝き、史上最年少の 21 歳 103 日で年間最優秀選手賞に選出されました。さらには賞金ランキングも 1 位となり、年間獲得賞金も最高額を更新しました (2 億 3,502 万 967 円)。さらに、日本人初の平均ストローク 60 台 (69.9714 ストローク) を達成し、ミヤギテレビ杯第 1 日には「60」をマークし 18 ホールの最小ストロークを更新しました。そのほかにも JLPGA 荣誉賞やメディア賞ベストショット部門を受賞するなど 5 冠のタイトルを獲得するなどの金字塔を打ち立て、2022 年の顔となる選手となりました。昨シーズンよりさらなる飛躍を求め、重要な初戦を迎えます。



稲見萌寧

ここ数年、抜群の安定感を見せている**稲見萌寧**は、過去出場した 2 試合はいずれもトップ 10 に入る活躍を見せ、大会初優勝の期待がかかります。昨シーズンは年間 2 勝を挙げ、2020-21 年シーズン 9 勝を挙げての賞金女王、東京五輪銀メダリストの意地を發揮し、2022 年ツアーを牽引しました。腰の痛みを抱えながらも昨シーズン出場試合数 38 試合と、タフネスを兼ね備えた一面が伺えます。2019 年から 2 シーズン連続パーオン率 1 位、昨シーズンも 2 位と屈指のショット力にさらなる磨きがかかるのか、今オフはどんな進化を遂げているのか注目が集まります。

★今年も若手が新たな旋風を起こすのかベテランの対抗か

昨今の JLPGA ツアーを象徴するように 2022 年シーズンも若手の台頭が著しく、開催された 38 試合のうち 27 戦を 1998 年以降に生まれた世代が制し、次々とニューヒロインが誕生しています。その一方でベテランの活躍にも注目が集まります。



勝みなみ



小祝さくら

多くのツアー優勝経験者が集まる 1998 年生まれの“黄金世代”からは、2022 年日本女子オープンで大会史上 3 人目の連覇を達成し、今季は海外挑戦を控えている**勝みなみ**をはじめ、2 勝を含むメルセデス・ランキング 7 位の**小祝さくら**、昨シーズンツアー初優勝を飾った**高橋彩華**、**大里桃子**など実力者たちが虎視眈々と開幕戦制覇を狙います。



西村優菜



吉田優利

2000 年生まれの“プラチナ世代”からは、昨シーズン 2 勝を挙げ、前回大会では 3 位と優勝争いを演じる活躍を見せた**西村優菜**をはじめ、ツアー初優勝の期待がかかる**安田祐香**、昨年は優勝こそないもののメルセデス・ランキング 6 位、トップ 10 入りが 19 度と安定感を誇る**吉田優利**がエントリーしています。

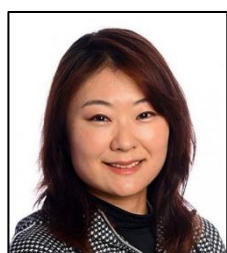


川崎春花



櫻井心那

さらにルーキーとして JLPGA ツアー初優勝をメジャー大会で飾るなど 2 勝を挙げた**川崎春花**、ルーキーイヤーでツアー初優勝を飾った**尾関彩美悠**、さらにステップ・アップ・ツアーで年間 5 勝を挙げ最多勝記録、年間獲得賞金記録を更新（2511 万 4,100 円）した**櫻井心那**といった“94 期生”が初の沖縄開幕を迎えます。



藤田さいき



金田久美子

ベテラン勢では、昨年 11 年ぶりの復活優勝を成し遂げ、トップ 10 に 8 度入るなど大きな話題を呼んだ**藤田さいき**、1988 年のツアー制度施行以来 11 年 189 日の最長ブランク優勝でプロ通算 2 勝目を飾った**金田久美子**など円熟味を増した技術でどう対抗するのか、2022 年を占う重要な初戦に臨みます。

★4 大会ぶりの優勝に期待したい沖縄県勢選手

地元沖縄県勢では、ダイキン工業所属選手の**諸見里しのぶ**と**新垣比菜**に加えて、2019年大会覇者でシード権復帰をめざす**比嘉真美子**、さらに、プロ生活20年を超える**上原彩子**は24大会連続出場となります。そのほか、昨年の今大会で4位と上位に食い込んだ**山城奈々**のほか**大城さつき**、前回アマチュアながら10位タイの成績を挙げた**荒川怜郁**など活躍が期待される選手が揃って出場します。地元の熱い声援を受け、4年ぶりの沖縄県勢優勝をめざします。



諸見里しのぶ

諸見里しのぶは、2018年の3位タイ、2010年の2位タイなど大会との相性も良く、アマチュア時代には、当時のツアー最年少予選通過記録(14歳7か月)を樹立するなど実績を残してきた舞台です。2019年限りでツアーの第一線から退くことを表明したものの、コースセティングやテレビ解説などで得た視点を活かし、地元沖縄での活躍を誓います。



新垣比菜

新垣比菜は、所属契約後初めて臨んだ2019年大会で2位、2021年大会は10位タイに入る活躍を見せました。また、去年はステップ・アップ・ツアー最終戦で4年ぶりの優勝を飾り、ファイナルQTも14位で通過し今シーズンへ繋がる1年となりました。かつて5年連続(2013～2017年)でベストアマチュアに輝くなど好相性の舞台で、地元の応援を受けプロ2勝目をめざします。



荒川怜郁

荒川怜郁は、昨年のアマチュア予選会を2位で勝ちあがると勢いそのまま、本戦でも10位タイに入る活躍を見せました。その後、JLPGAプロテストに見事合格し、昨年12月に行われたファイナルQTを4位で通過、JLPGAツアー前半戦の出場権を獲得しました。長身を活かしたパワフルなスイングを武器にプロとしてのデビューを地元・沖縄で飾ります。

また、今年の1月30日、31日に行われた『ダイキンオーキッドレディスアマチュアゴルフ選手権』では、中学生の吉崎マーナさんが優勝、2年連続での本戦出場権を獲得しました。続く2位には高校生の小潮川せりさんが入り、こちらも2年連続での大舞台への出場を決めるなど、出場178名のうち上位通過を果たした4名（**吉崎マーナさん**、**小潮川せりさん**、**島袋ひのさん**、**比嘉里緒菜さん**）が本戦への出場切符を手に入れました。今回通過を果たした4名とも過去に本戦出場経験があり、ベストアマチュアの座を争います。



(写真：左から比嘉さん、小潮川さん、吉崎さん、島袋さん)

出場予定選手一覧(108名)

■前年度メルセデス・ランキング上位50位までの者

山下美夢有	稲見萌寧	勝みなみ	西村優菜	吉田優利
小祝さくら	堀琴音	藤田さいき	青木瀬令奈	上田桃子
菊地絵理香	高橋彩華	川崎春花	申ジエ (KOR)	森田遥
岩井千怜	ベソンウ (KOR)	イミニョン (KOR)	永井花奈	植竹希望
三ヶ島かな	黄アルム (KOR)	鈴木愛	木村彩子	野澤真央
渡邊彩香	佐藤心結	原英莉花	佐久間朱莉	大里桃子
全美貞 (KOR)	福田真未	後藤未有	ささきしょうこ	岸部桃子
岩井明愛	サイベイイン (TPE)	尾関彩美悠	笠りつ子	阿部未悠奈
川岸史果	金田久美子	テレサ・ルー (TPE)	穴井詩	金澤志奈
小倉彩愛				

■JLPGAツアーで30勝した者

不動裕理

■公式競技で優勝した者

永峰咲希

■前年度週番号第46週に開催されるJLPGAツアー競技終了時点のメルセデス・ランキング51位から55位の者

桑木志帆	河本結	安田祐香	リハナ (KOR)	上野菜々子
------	-----	------	-----------	-------

■前年度JLPGAステップ・アップ・ツアー賞金ランキング上位2位までの者

櫻井心那	宮澤美咲
------	------

■QTランキングリスト上位者

若林舞衣子	木下彩	フェービアー・ヤオ (TPE)	荒川怜郁	石川明日香
葭葉ルミ	神谷そら	浜崎未来	仲宗根澄香	奥山友梨
脇元華	藤本麻子	鶴瀬華月	新垣比菜	種子田香夏
仁井優花	松本珠利	泉田琴菜	柏原明日架	田辺ひかり
大出瑞月	竹田麗央	石井理緒	岡山絵里	新海美優
エイミー・コガ (USA)	内田ことこ	吉本ひかる	蛭田みな美	吉田弓美子

■次点補充者

安田彩乃	天本ハルカ	平岡瑠依	照山亜寿美	大城さつき
------	-------	------	-------	-------

■主催者推薦選手

諸見里しのぶ	西山ゆかり	上原彩子	原江里菜	木戸愛
堀奈津佳	松森彩夏	辻梨恵	山路晶	大西葵
比嘉真美子	山城奈々	ウーチャイエン (TPE)	@吉崎マーナ	@小潮川せり
@島袋ひの	@比嘉里緒菜	()		

注釈①：(KOR)…韓国、(TPE)…チャイニーズタイペイ、(USA)…アメリカ

注釈②：@…アマチュア選手

注釈③：太字は沖縄選手

2023年2月14日現在

今年ダイキンオーキッドレディスで達成が期待される記録集 ※2/10 エントリー時点

■生涯獲得賞金●円突破

氏名	突破賞金額	現在賞金額	突破まであと	最低達成条件	達成試合数	
笠 りつ子	700,000,000	691,839,141	8,160,859	単独3位以上	489試合目	史上16人目
藤田 さいき	600,000,000	587,182,190	12,817,810	優勝	522試合目	史上24人目
諸見里 しのぶ	500,000,000	492,673,562	7,326,438	単独3位以上	363試合目	史上33人目
藤本 麻子	400,000,000	389,861,035	10,138,965	単独2位以上	409試合目	史上63人目
堀 琴音	300,000,000	297,526,215	2,473,785	単独9位以上	218試合目	史上89人目
金田 久美子	300,000,000	291,168,294	8,831,706	単独2位以上	397試合目	史上89人目
岡山 絵里	300,000,000	289,272,642	10,727,358	優勝	221試合目	史上89人目
福田 真未	300,000,000	280,414,423	19,585,577	優勝	317試合目	史上89人目
大里 桃子	200,000,000	197,494,807	2,505,193	単独9位以上	163試合目	史上145人目
吉田 優利	200,000,000	189,732,942	10,267,058	単独2位以上	88試合目	史上145人目
木村 彩子	200,000,000	182,740,270	17,259,730	優勝	179試合目	史上145人目
吉本 ひかる	100,000,000	97,710,631	2,289,369	単独10位以上	141試合目	史上228人目
大出 瑞月	100,000,000	92,566,358	7,433,642	単独3位以上	176試合目	史上228人目
川崎 春花	100,000,000	92,052,000	7,948,000	単独3位以上	22試合目	史上228人目

■その他

トーナメントコースレコード：62 (-10) 2003年 具玉姫

トーナメントレコード：3日間大会 202 (-14) 2008年 宋ボベ、2015年 テレサ・ルー
：4日間大会 274 (-14) 2021年 小祝さくら

■今週誕生日を迎える選手

3/1(水) ペソウ (29)

3/3(金) 堀 琴音 (27)

大会歴代優勝者一覧

	開催年	優勝者	スコア	ベストアマチュア	スコア
第1回	1988年	黄 璧洵	±0(216)	-	
第2回	1989年	P.リゾ	-5(211)	-	
第3回	1990年	高須 愛子	-3(213)	-	
第4回	1991年	A.ベンツ	-9(207)	-	
第5回	1992年	P.シーハン	-8(208)	-	
第6回	1993年	城戸 富貴	-8(208)	-	
第7回	1994年	福嶋 晃子	-3(213)	-	
第8回	1995年	M.マクガアヤ	-6(210)	-	
第9回	1996年	リー ウェンリン	-4(212)	-	
第10回	1997年	高 又順	-10(206)	(該当者なし)	
第11回	1998年	金 愛淑	-5(211)	(該当者なし)	
第12回	1999年	井上 陽子	-10(206)	(該当者なし)	
第13回	2000年	藤野 オリエ	-7(209)	(該当者なし)	
第14回	2001年	不動 裕理	-3(213)	@ 諸見里しのぶ	+12(228)
第15回	2002年	藤井 かすみ	-8(208)	@ 諸見里しのぶ	+4(220)
第16回	2003年	不動 裕理	-8(208)	@ 宮里美香	+2(218)
第17回	2004年	宮里 藍	-10(206)	@ 諸見里しのぶ	-3(213)
第18回	2005年	藤野 オリエ	+1(217)	@ 諸見里しのぶ	+8(224)
第19回	2006年	西塚 美希世	-8(208)	@ 笠りつ子	+1(217)
第20回	2007年	米山 みどり	-6(210)	@ 宮里美香	+2(218)
第21回	2008年	宋 ボベ	-14(202)	(該当者なし)	
第22回	2009年	三塚 優子	-8(208)	@ 比嘉真美子	-3(213)
第23回	2010年	アン ソンジュ	-10(206)	@ 山里愛	+9(225)
第24回	2011年	朴 仁妃	-11(205)	(該当者なし)	
第25回	2012年	斉藤 愛璃	-10(206)	@ 比嘉真美子	-5(211)
第26回	2013年	森田 理香子	-13(203)	@ 新垣比菜	-5(211)
第27回	2014年	O.サタヤ	-8(208)	@ 新垣比菜	+1(217)
第28回	2015年	テレサ・ルー	-14(202)	@ 新垣比菜	+1(217)
第29回	2016年	テレサ・ルー	-8(280)	@ 新垣比菜	+8(296)
第30回	2017年	アン ソンジュ	-6(282)	@ 新垣比菜	+9(297)
第31回	2018年	イ ミニョン	-11(205)	@ 新城莉李亜	-2(214)
第32回	2019年	比嘉 真美子	-5(283)	(該当者なし)	
第33回	2020年	※新型コロナウイルス感染拡大により大会中止			
第34回	2021年	小祝 さくら	-14(274)	@ 新城莉李亜	+6(294)
第35回	2022年	西郷 真央	-10(278)	@ 荒川怜郁	-4(284)

※第3日は荒天のため中止

大会レコード

- ・大会コースレコード 62 ストローク 具玉姫【第16回大会(2003年)2日目】
- ・最年少優勝 18歳 262日 宮里藍プロ【第17回大会(2004年)】
- ・最年少出場 12歳 074日 新垣比菜さん【第24回大会(2011年)】
- ・最年少予選突破 14歳 079日 新垣比菜さん【第26回大会(2013年)】

ダイキンオーキッドレディスの歩み(年表)

開催年	優勝者	スコア	ベストアマチュア	スコア	大会のトピックス
第1回 1988年	黄 璧洵	±0(216)	-	-	○LPGAツアーの開幕戦として開催 ○賞金総額4,000万円、優勝賞金700万円 (1988年からLPGAツアー制度を施行)
第2回 1989年	P.リゾ	-5(211)	-	-	○賞金総額を4,500万円に増額
第3回 1990年	高須 愛子	-3(213)	-	-	○日本人初のチャンピオンが誕生 ○10月、故・中山泰平氏(元日本興業銀行頭取)の提唱で本土財界と 沖縄財界の協力・交流の場として「沖縄懇話会」が設けられる ○賞金総額を5,000万円に増額
第4回 1991年	A.ベンツ	-9(207)	-	-	
第5回 1992年	P.シーハン	-8(208)	-	-	○賞金総額を6,000万円に増額
第6回 1993年	城戸 富貴	-8(208)	-	-	
第7回 1994年	福岡 晃子	-3(213)	-	-	○福岡晃子が涙のツアー初優勝。20歳8カ月6日でのツアー優勝は、 当時日本人女子プロ史上3番目に若い記録
第8回 1995年	M.マクゲイア	-6(210)	-	-	○オーキッドパウンティの創設
第9回 1996年	リー ウェンリン	-4(212)	-	-	
第10回 1997年	高 又順	-10(206)	(該当者なし)	-	○サブタイトルに「Together with OKINAWA」を掲げる ○第1回ダイキンオーキッドレディスアマチュアゴルフ選手権大会を開催 ○ボランティアスタッフによる大会運営を開始
第11回 1998年	金 愛淑	-5(211)	(該当者なし)	-	
第12回 1999年	井上 陽子	-10(206)	(該当者なし)	-	
第13回 2000年	藤野 オリエ	-7(209)	(該当者なし)	-	○宮里藍、諸見里しのぶがプロトーナメントにデビュー ・ダイキンオーキッドレディス(ツアー競技)初出場
第14回 2001年	不動 裕理	-3(213)	@諸見里しのぶ	+12(228)	○諸見里しのぶが予選を通過 ・アマチュアゴルフ選手権から初の予選通過者が誕生 ・当時のLPGAツアー最年少予選通過記録を樹立(当時14歳7カ月)
第15回 2002年	藤井 かすみ	-8(208)	@諸見里しのぶ	+4(220)	○大会ポスターデザインの公募を開始 ○地元玉城中学校の生徒を大会に招待
第16回 2003年	不動 裕理	-8(208)	@宮里美香	+2(218)	○具玉姫が2Rに2つのツアーレコードを樹立 ・62ストローク/当時18ホールでの最少ストロークを記録 ・11バーディー/18ホールでの最多バーディー数を記録
第17回 2004年	宮里 藍	-10(206)	@諸見里しのぶ	-3(213)	○宮里藍がプロデビュー後、ツアー初優勝 ・沖縄県勢として初のダイキンオーキッドレディスチャンピオンに
第18回 2005年	藤野 オリエ	+1(217)	@諸見里しのぶ	+8(224)	○大会サブタイトルを「Ever Onward with OKINAWA」 (沖縄とともに限りなき前進)に変更 ○賞金総額を8,000万円に増額
第19回 2006年	西塚 美希世	-8(208)	@笠りつ子	+1(217)	○諸見里しのぶがプロとして初出場
第20回 2007年	米山 みどり	-6(210)	@宮里美香	+2(218)	○米LPGAツアーに参戦中の宮里藍が出場、4位に ○大会史上最多となる29,753人のギャラリーが来場
第21回 2008年	宋 ボベ	-14(202)	(該当者なし)	-	○宋ボベがトーナメントレコードを更新する14アンダーで優勝 ○米山みどりが最終日の16番ホールでホールインワンを記録。 ホールインワン賞300万円を獲得
第22回 2009年	三塚 優子	-8(208)	@比嘉真美子	-3(213)	○上原彩子が優勝争いを繰り広げ、本大会自己最高となる2位タイに ○比嘉真美子(12位タイ)、森長真理子(53位タイ)と4大会ぶりにアマチュア が複数選手決勝ラウンドに進出
第23回 2010年	アン ソンジュ	-10(206)	@山里愛	+9(225)	○日本ツアー初参戦のアンソンジュが優勝。同年賞金女王に輝く。 (外国人選手の賞金女王は当時ツアー2人目) ○諸見里しのぶが本大会自己最高となる2位タイに
第24回 2011年	朴 仁妃	-11(205)	(該当者なし)	-	○新垣比菜が大会最年少出場記録を更新(12歳74日、小学6年生)
第25回 2012年	斉藤 愛璃	-10(206)	@比嘉真美子	-5(211)	○斉藤愛璃が三塚優子と李知姫とのプレーオフを制してツアー初優勝 ○比嘉真美子が16位タイに入り、ベストアマを獲得 ○アマチュアの伊波杏莉が2日目の13番でホールインワンを記録。 規定改正後、アマチュアとして初のホールインワン賞、賞金50万円を獲得
第26回 2013年	森田理香子	-13(203)	@新垣比菜	-5(211)	○森田理香子がプロ初優勝。同年LPGAツアー賞金女王に輝く ○新垣比菜が28位タイに入り、ベストアマを獲得
第27回 2014年	O.サタヤ	-8(208)	@新垣比菜	+1(217)	○比嘉真美子が2位タイに ○新垣比菜が21位タイに入り、2年連続ベストアマを獲得。諸見里しのぶに 続き、大会史上2人目の記録
第28回 2015年	テレサ・ルー	-14(202)	@新垣比菜	+1(217)	○新垣比菜が33位タイに入り、大会史上初となる3年連続ベストアマを獲得 ○沖縄県勢では単独の4位に川満陽香理、5位タイに宮里美香が入る
第29回 2016年	テレサ・ルー	-8(280)	@新垣比菜	+8(296)	○世界基準となる4日間競技に変更 ○賞金総額を1億2,000万円に増額 ○テレサ・ルーが史上初の大会2連覇を達成 ○新垣比菜が4年連続のベストアマを獲得
第30回 2017年	アン ソンジュ	-6(282)	@新垣比菜	+9(297)	○第30回記念大会として開催 ○宮里藍が6年ぶりに出場 ○新垣比菜が5年連続のベストアマを獲得
第31回 2018年	イミニョン	-11(205)	@新城莉李亜	-2(214)	○第3日は荒天の為、競技中止。54ホールの短縮競技 ○諸見里しのぶが3位タイに入る活躍
第32回 2019年	比嘉真美子	-5(283)	(該当者なし)	-	○比嘉真美子が宮里藍以来、15年ぶりの沖縄県勢優勝 ○新垣比菜が所属プロとして初めて迎えた本大会で2位タイに
第33回 2020年					○新型コロナウイルス感染拡大により大会史上初の中止
第34回 2021年	小祝さくら	-14(274)	@新城莉李亜	+6(294)	○1日あたり原則1,000人での有観客開催 ○4人がホールインワン達成。4日間大会で4度記録し最多記録を更新 ○新垣比菜、川満陽香理が10位タイに入る
第35回 2022年	西郷真央	-10(278)	@荒川怜郁	-4(284)	○1日あたり原則3,000人での有観客開催 ○荒川怜郁が10位タイに入り、ベストアマを獲得

2023 年 JLPGA ツアー初戦の様相を沖縄から TBS 系列で全国に放映

JLPGA ツアー2023 シーズンの開幕戦『第 36 回ダイキンオーキッドレディスゴルフトーナメント』の熱戦の様相は、地上波では TBS 系列 28 局を結び沖縄から日本全国へ向け放送します。このほか、BS-TBS では第 2 日の金曜日から 3 日間放送いたします。

【放送予定】

■地上波

3月3日	(金)	24:15～25:15	<RBCローカル>
3月4日	(土)	15:00～15:54	<LIVE／TBS・MBS・RBC他>
3月5日	(日)	15:30～16:54	<TBS 系列全国ネット>

■BS-TBS

3月3日	(金)	18:30～19:30
3月4日	(土)	19:00～20:00
3月5日	(日)	17:30～18:54

◇ラジオ◇

RBCラジオでは、大会期間中、会場から生中継でダイキンオーキッドレディス情報をお伝えします。

熱戦の舞台は琉球ゴルフ倶楽部

今年も大会の舞台は、沖縄本島南部に位置する琉球ゴルフ倶楽部（沖縄県南城市）です。沖縄ならではのガジュマル、ホルトや椰子といった熱帯植物に囲まれた南国ムードあふれ、東、西、南の 27 ホールを擁します。海岸線に近いので風が強く吹く日もあり、自然というハザードも魅力の一つです。ダイキンオーキッドレディスでは、1988 年の第 1 回大会から継続して琉球ゴルフ倶楽部にて開催しています。

～ 琉球ゴルフ倶楽部 ～

沖縄県南城市玉城字親慶原 1 番地

開場：昭和 52 年 7 月

設計：梅沢 弘 監修：川波義太郎

第36回ダイキンオーキッドレディス 大会実施要項

大会名称：第36回 ダイキンオーキッドレディスゴルフトーナメント

主催：ダイキン工業株式会社、琉球放送株式会社

公認：一般社団法人日本女子プロゴルフ協会

後援：沖縄県、那覇市、南城市、沖縄観光コンベンションビューロー、TBS テレビ

企画運営：琉球放送株式会社

運営協力：株式会社博報堂、株式会社ダンロップスポーツエンタープライズ

開催期日：2023年2月	27日（月）	指定練習日
	2月 28日（火）	指定練習日・前夜祭
	3月 1日（水）	プロアマ大会
	3月 2日（木）	本大会第1日（予選ラウンド）
	3月 3日（金）	本大会第2日（予選ラウンド）
	3月 4日（土）	本大会第3日（決勝ラウンド）
	3月 5日（日）	本大会最終日（決勝ラウンド）

開催場所：琉球ゴルフ倶楽部

〒901-0608 沖縄県南城市玉城字親慶原1番地 TEL：098-948-2460

競技方法：4日間72ホールストロークプレー

36ホール終了し、上位50位タイまでが決勝ラウンドに進出する。最終ラウンド終了時に、第1順位の者が2人以上いた場合は、即日協議委員会が指定するホールにおいて、ホールバイホールによるプレーオフを行い、優勝者を1人決定する。

競技規則：R&AとUSGAが承認したゴルフ規則（2023年1月施行）とJLPGAローカルルールおよび競技の条件、本大会追加ローカルルールを適用する。

出場資格：JLPGA ツアー規定による出場有資格者90名
主催者推薦18名（アマチュア含む）

賞金：賞金総額1億2,000万円 優勝賞金2,160万円

特別賞：優勝副賞／ダイキンルームエアコン『うるさらX』
ダイキンルームエアコン『risora』
ダイキン除加湿ストリーマ空気清浄機『うるるとさらら空気清浄機』
＜ダイキン工業㈱ 提供＞
ヤンマープレジャーボート『トップラン FX24EZ.LTDⅢ』
＜ヤンマーホールディングス㈱ 提供＞

琉球放送賞／特製オーキッド絵模様（東道盆）
沖縄県知事賞／琉球ガラス特製品
チェコ賞／ボヘミアングラス

TV放映：TBS系列全国ネット、BS-TBS

～ Ever Onward with OKINAWA～ ダイキンオーキッドレディスの地域貢献活動

ダイキンオーキッドレディスでは、1997年の第10回記念大会から「沖縄と共に歩み続けるトーナメントをめざしたい」という願いを込めて、大会スローガンに“Together with OKINAWA”を掲げ、地域と一体となった大会運営を続けてきました。2005年大会からは「沖縄とともに限りなき前進」というめざす姿を表現した新しい大会スローガン“Ever Onward with OKINAWA”に変更し、さらに一歩進んだ活動をめざしています。

過去3年間、コロナ禍で活動が制限される中でも感染防止対策を徹底しながら地元と密着した取り組みを続けてきました。

第36回ダイキンオーキッドレディスでは、4年ぶりに観客動員数の制限をなくし大会を開催します。それにあわせて沖縄と本土の経済人が交流し、“沖縄と本土を結ぶ懸け橋”となってきた前夜祭とプロアマ大会も開催します。これまで続けてきた地元密着の取り組みについても通常の形での活動を再開し、さらなる発展をめざし取り組んでいきます。

●ダイキンオーキッドレディス アマチュアゴルフ選手権大会の開催

アマチュア選手権大会は、第10回記念大会より、地元沖縄県のスポーツ振興を目的に開催され、今回で27回目を迎えます。沖縄県在住または沖縄県出身の女性アマチュアプレーヤーであれば参加することができます。コロナ禍でも感染防止対策を徹底しながら開催を継続し、過去26回の大会でのべ5,000人を超える選手が出場しています。

第1回大会を制した新崎弥生が2002年にプロになったのを皮切りに、第3回大会を制した上原彩子、第4回の宮里藍、第5、6、8回と3度の大会を制した諸見里しのぶ、第7回の宮里美香、第18回の新垣比菜、第25回大会の荒川怜郁など本大会の優勝者が次々とプロゴルファーとなり、これまで20名のプロゴルファーが誕生しています。

●「オーキッドバウンティ」～沖縄の文化・スポーツ振興への支援活動～

1995年の第8回大会から「オーキッドバウンティ」の名称で、沖縄県の芸術、文化、スポーツ、教育等の振興を目的として活動している個人・団体の支援を行っております。これまでの支援先は、のべ255件を数え、支援総額は1億7,250万円となっています。今回も前夜祭やプロアマ大会に参加される沖縄と本土の経済人から浄財を募り、両主催者の寄付金と合わせて贈呈する予定です。

●大会ポスターデザインの公募

2002年の第15回大会より実施したポスターデザインの公募は、沖縄の若い世代の芸術・文化振興に貢献する目的から始めたものです。他トーナメントにない独自の取り組みで、今回で22回目を迎えます。県内の園児から高校生の児童・生徒を対象にポスターデザイン募集を行い、780点の応募をいただきました。沖縄をイメージさせるものや、ゴルフを連想させるものなど子どもの斬新かつ大胆な発想で描く力作が集まりました。ポスターは全国の各所に掲示し大会を盛り上げると同時に、子どもたちにもダイキンオーキッドレディスや、ゴルフを知ってもらうきっかけとなっています。現在も大会ポスターを一般公募しているトーナメントはなく、ダイキンオーキッド独自の取り組みです。

●地元ボランティアスタッフによる大会運営

トーナメント開催コースである琉球ゴルフ倶楽部のある沖縄県南城市（旧：玉城村）を中心とした地元の皆様に、ボランティアスタッフとして大会の運営に参加していただいております。1997年の第10回大会から始まったこの取り組みは、20年以上の長きにわたってご協力いただいている方々もいらっしゃいます。コロナ禍では沖縄県内のボランティアスタッフを中心とした運営となっていたのですが、今回は全国からの応募を再開し、従来の延べ500人規模での大会運営をめざします。

●「総合学習」の一環として地元中学生をトーナメントに招待

大会では、多くの子供たちにゴルフというスポーツの魅力を通じて様々なことを学び感じてもらうことを目的として、2002年の第15回大会より玉城中学校1年生をトーナメント会場に招待しています。日本女子プロゴルフ協会の小林浩美会長をはじめ、大会スタッフによるレッスン会を兼ねた事前説明会を実施し、当日はコースでプロゴルファーの厳しい勝負の世界にふれるほか、トーナメント運営の現場（大会本部、テレビ中継センター、プレスルーム、速報センター、グリーンキーパー等）を見学していただきました。これまで感染防止対策の観点から実施を見送っていましたが、今回は教職員のみなさまのご協力のもと4年ぶりに再開します。玉城中学1年生170名が会場での総合学習を実施する予定です。

第36回ダイキンオーキッドレディス 大会ロゴ



Ever Onward With Okinawa

Daikin Orchid

Ladies Golf Tournament



Ever Onward With Okinawa

Daikin Orchid

Ladies Golf Tournament



Ever Onward With Okinawa

Daikin Orchid

Ladies Golf Tournament



Ever Onward With Okinawa

Daikin Orchid

Ladies Golf Tournament

下記のドロップボックスに、大会ロゴデータおよびポスタービジュアルデータなどをアップロードしております。ご活用ください。

ダイキンオーキッド報道用素材ドロップボックスURL

<https://www.dropbox.com/sh/u5uctwmmk3gqtdl/AAAV4bs3JG1A291cSZBvg2q2a?dl=0>

＜本大会に関するお問い合わせ先＞

■読者・視聴者用お問い合わせ先

RBCダイキンオーキッド事務局 TEL.098-864-2200 担当／護得久・前田

■報道関係者からのお問い合わせ先

ダイキンオーキッドレディス大会広報事務局(株式会社エムシーピーアール内)

TEL.03-6277-8760

担当／成願(じょうがん)、鈴木

携帯:090-2447-1069(成願) E-mail:jogan@mcpr.co.jp / suzuki@mcpr.co.jp